

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日2021年9月8日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	千葉県市長会・千葉県町村会			代表者名	堤 紳一（事務局長）
担当者部署	企画政策課			連絡先電話番号	043-311-4150
担当者役職	嘱託	担当者氏名	仲臺 幸彦	連絡先E-mail	
住所	260-0013 千葉県千葉市中央区中央4-17-8				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	千葉 大右
評価	大変よい

上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）

アドバイザーへの要望事項

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2021年7月23日	15時00分	16時00分		60
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者

属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
千葉県市長会・町村会企画政策課職員	2人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	総務省が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」について、その「重点取組事項」等を各市町村が取り組めるための標準的な手順等として「自治体DX推進手順書」が今月7日に公表された。自治体の行政サービスのデジタル化には、その手順書の十分な理解が不可欠となっている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	千葉県内市町村の各所管部課長が「自治体DX手順書」の内容をよく理解され、各々の自治体においてデジタル化施策に着実に取り組み推進されること。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	①配信用「手順書説明動画」の作成、提供 ②動画編集に係る助言
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	①作成動画等の確認：「手順書説明動画」⇒講師（アドバイザー）作成 「事務局長挨拶動画」⇒企画政策課作成 「動画内タイトル・テロップ」等⇒企画政策課作成 ②動画配信期間の決定：令和3年7月30日（金）から令和3年9月30日（木）
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑦その他 ①配信用動画データ「自治体DX推進計画と同手順書について」（MP4）他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容（具体的にご記入ください）	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修受講者にアンケートを依頼する予定。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい⑤その他
事業の最終的な目指す姿	千葉県内市町村の各情報政策担当部課長が本研修を受講し、「自治体DX推進手順書」の内容を理解し、各々の自治体においてデジタル化施策を十分に推進する。

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

